

12月25日 主の降誕

私たちのために救い主が生まれた

ルカによる福音書 2章 1～14節

¹ そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。² これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。³ 人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。⁴ ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。⁵ 身ごもっていた、いいなずけの MARIA と一緒に登録するためである。⁶ ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、MARIA は月が満ちて、⁷ 初めての子を産み、布にくるんで飼葉桶ほおけに寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

⁸ その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。
⁹ すると、主の天使が近づき、主の栄光しゅが周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。¹⁰ 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。¹¹ 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。¹² あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」
¹³ すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。
¹⁴ 「いと高きところには栄光、神にあれ、
 地には平和、御心みこころに適う人にあれ。」

他の朗読：イザヤ 9：1～7 詩編 96：1～3, 11～13 テトス 2：11～14

Lectio…読む

イエス誕生の物語がふたつの場面で描かれています。第一の場面である 1～7 節でルカは、イエスの母と父ヨセフはパレスチナの北部ナザレに住んでいたのに、イエスはどのようにして南部のベツレヘムで誕生したのか、ということを説明しています。

ヨセフに住民登録をする必要が生じます。ダビデ王の子孫として、ベツレヘムへ帰省しなければならないのです。MARIA はそこでイエスを産みます。ダビデ王の子孫にメシアを遣わす、という神の約束(イザヤ 9 章 5, 6 節)が成就したのです。イエスが誕生した場所さえも、ミカの預言(ミカ 5 章 1 節)の成就だったのです。

8～14 節に描かれる第二の場面では、イエス誕生の知らせがいかにして外の世界の人々にもたらされたのかを知ることができます。驚くべきことに、この知らせを受け取るのは羊飼いたちです。神は幼子の誕生と、この幼子の正体を明かすため、天使を遣わします。MARIA とヨセフには泊まる場所がなかったので、幼子は動物と共に貧しい飼葉桶で誕生しました。天使が羊飼いたちに与える、この幼子が神の約束された救い主であることの証明は、あなたがたはベツレヘムでその幼子を、よりによって動物にえさをやる桶、すなわち、飼葉桶の中に横たわっている幼子を見つけるだろう、というものでした。

天使たちはこの幼子誕生の興奮を抑えることができないようです。突然この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して歌いだします。

私たちの聖書朗読はここで終わりますが、物語は続きます。羊飼いたちは天使が述べたこの知らせを信じ、自分たちで確かめるためにベツレヘムへ行きます。彼らはイエスを見つけ、天使たちが彼らに言ったことをすべて MARIA とヨセフに伝えたのです。まさに彼らこそ、イエスが長く待ち望まれた

救い主であると告げ知らせる最初の人々となったのです。(15～20 節)

Meditatio…黙想する

なぜ神は、イエスの時代において社会的に低い立場にあり、時には盗人とみなされることもあった羊飼いたちに御子の誕生を現すことを選んだのか、よく考えてみましょう。

イエスが、人々が期待していたものとは異なるメシアとなり、人々の考えとは異なる王国を導くだろうことについて、イエス誕生の様子から私たちはどのような手がかりを得ることができるでしょうか。

イエスが天の栄光を離れ、飼い葉桶のなかで幼子として生まれるよう備えられた不思議をかみしめましょう。

イエスがあなたの救い主であり、主であることを考えてみましょう。それはあなたにとってどのような意味があるでしょうか。

Oratio…祈る

天使の大軍が最初のクリスマスの夜に歌った「いと高きところには栄光、神にあれ」という言葉を響かせましょう。このすばらしい賛美の言葉を繰り返しましょう。

イエスを救い主として遣わしてくださった神に感謝をささげましょう。

心の中にイエスのための場所をつくることが出来ない人々を思い起こしましょう。

Contemplatio…観想する

イザヤ9章5節で、私たちの救い主に与えられている4つの称号「驚くべき指導者」「力ある神」「永遠の父」「平和の君」について、少しの間思い巡らしてみましょう。テトス2章11～14節の、神の恵みによって神に喜ばれる生活を生きることができ、そしてイエスが地上に再臨する日を待ち望むことができるというメッセージについても考えてみましょう。